

令和6年度予算のあらまし

一般会計では、保育施設等への給付費や学校建設費等の増加などにより、前年度比334億円増の6,481億円と、当初予算では過去最大の規模となりました。

また、特別会計は公債管理特別会計における公債費の減少などにより23億円減少、企業会計は高速鉄道事業における建設改良費の増加などにより34億円増加し、一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算総額は1兆2,236億円と、震災以降引き続き1兆円を超える規模となりました。

歳入 市税収入や国庫支出金が増加

市税収入は、土地に係る評価替えによる固定資産税の増加などにより、18億円増加しました。また、国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増加などにより、27億円増加しました。

歳出 義務的経費・投資的経費ともに増加

【目的別の歳出】 保育施設等への給付費などが増加した健康福祉費が2,486億円（38.4%）となり、最も大きな割合を占めました。次いで学校建設費等が増加した教育費が1,161億円（18.0%）、土木費が651億円（10.0%）、公債費が591億円（9.1%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障関係費等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、職員の退職手当の増加や、子育て関連の事業費の増加などにより、前年度に比べて212億円の増加となりました。また、投資的経費は、学校建設費等が増加したことなどにより、前年度に比べて168億円の増加となりました。

3つの柱を基軸に重点的な予算配分

本市の財政は、物価高騰の影響によるコストの増加に加え、社会保障関係費や公共施設の長寿命化対策等に係る費用が増加していく見込みであることから、将来にわたり持続的な財政基盤を確立していくことが重要となっています。

このような中、本年度予算においては、基本計画に掲げる都市像「The Greenest City SENDAI」の実現に向け、「未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実」、「都市個性を生かした賑わい・活力の創出とグローバルな魅力の発信」、「安全・安心な暮らしを支え、自分らしく輝ける活躍の応援」の3つを柱に据え、重点的な予算配分を行い、各般の施策に取り組んでいきます。

予算についてのお問い合わせは
 財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、
 または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

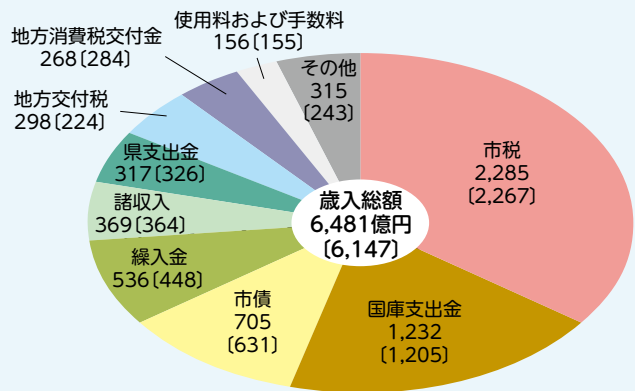
令和6年度の会計別の予算規模

	令和6年度（前年度比）
一般会計	6,481億円（334億円増加）
特別会計	3,180億円（23億円減少）
企業会計	2,575億円（34億円増加）
合計	1兆2,236億円（345億円増加）

歳入内訳（一般会計）

（単位：億円）

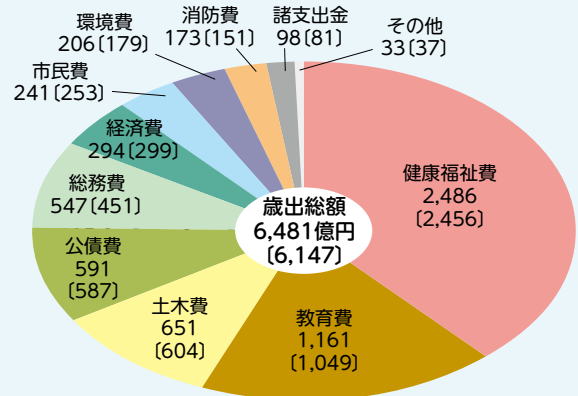
※〔 〕内の数字は令和5年度当初予算の金額



【目的別】歳出内訳（一般会計）

（単位：億円）

※〔 〕内の数字は令和5年度当初予算の金額



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

（単位：億円）

